



『報徳のおしえ』

### 「あらゆるものに徳はある！」

自分の行動が何から人様のお役に立つことができれば、これは我が身に徳を積むことになり、学校生活でいえば、直の仕事や掃除当番、雑巾や掃除用具の整備をしたり、あるいは、ゴミが落ちていたらそれを拾ったり、大小様々なことがあります。このように小さなことでも、誰かのために役立つようなことを積み重ねることが、ひいては自分自身に徳を積むことになるといえます。

徳はいつでもどこにでもあります。報徳で「徳は、どんな人にも、またどんなものにも持っている良き」取り柄です。思いやりのある人、何事にも進んで取り組む人、しつくりと手にしむプロフ、なめらかな書き味のボールペン、何か取り柄があるのです。

先日、朝に家を出る時に「ミニストップ」がずいぶん荒らされ、道一杯に「ミニ」が散らばっていました。隣のおばあさんが「ミニ」袋をもってきて、掃除をしておられました。その日の夜、自治会の方がネットを取り換えてくれました。誰かが見ているとは全然思っていなかったのですが、ほんの数分間の掃除が別の人の行動を引き起こしたのです。

「徳不孤必有隣（徳は孤ならず、必ず隣有り）」と論語にありますが、皆さんが少しでも世のため人のために役立つことをすれば、それを理解し支持してくれる隣人、仲間が現れ、そこから徳はさらに発展するでしょう。

尊徳は「あらゆるものに徳はある」といっています。小田原市の報徳博物館元館長佐々井典比古先生は、その徳の「よさを次のように詩で「万象具徳」として表しています。どんなものにも、よさがある。どんな心にも、よさがある。

よさがそれぞれ、みなちがうよさがいっぱい、かくれてるどこかとりえが、あるものだものとりえを、ひきだそうひとのとりえを、そだてようじぶんのとりえを、ささげようとりえととりえが、むすばれてこのよはたのしい、ふえせかい



さて、私たちがこのように徳を受けたとき、まず感謝する心を持たなければなりません。プレゼントをもらったり、わからないことを教えてもらったりすれば誰でも「ありがとう」と言います。「素直にお礼を言おう」といって、できていないことを指摘されたり注意されたりするところでしょうか。素直に受け入れることができるかもしれません。それが自分の成長につながるものであり、そのために注意していただいたのであれば、これも有難いことで、徳を受けたことになり、感謝の心を育てるのです。「感謝する」と「有難い」と感じる原点です。徳を受けていると感じていないの「あるいは有難い」と感じていないの「お礼を言おう」と「恩に報いよう」という気持ちにはなりません。

「我が身に徳を積む若き者は、毎日能く勤めよ。是れは大なる徳なり」(『聖徳太子伝』) 特に若い人々は、毎日よく努力すれば様々な良き、持ち味徳が身につきます。日々、怠りや勉強を怠り、部活動にも打ち込み、人のためになることを進んでやりましょう。もしこれを怠りなまけると、自分自身に徳を積むチャンスを目の前で失ってしまうことになり、良い行いも悪い行いも、人が見ていないこと、自分自身は知っています。お天道様が見てくれています。「徳は孤ならず」です。万象具徳をはじめ報徳のおしえの心のあり様は、大人や子どもも行動に限らず、人つくりである子育てや今の学校教育・家庭教育・社会教育の原点ともなるのです。



以徳報徳

「我が教へは、徳を以て徳に報うの道なり」(『聖徳太子伝』) 「以徳報徳」徳を以て徳に報い、これは平たくいえば、「いいことでいい世話になったときには、お世話になりました」といって返すことです。「恩返しをするべきです」という意味になります。それでは「徳」は「いいこと」でしょうか。それはあらゆるものに存在する良きであり、長所です。物にはそれぞれ、存在意義があり、良きがあります。私たちが家族や友人を含め、周囲のあらゆる人や物から様々な影響を受けて生きています。私たちがこれらの良きを受け取ったとき、徳を受けたと書けます。

「徳」は「いいこと」ではありません。また、徳を受けても「報いなくていい」とも少なくないので「報いなくていい」と「報いなくていい」は、私たちが周囲の人々から様々な形で恩を受けているのと同じこと、自然の恵みという言い方からわかるように、森や野山、川や海といった自然環境、世の中すべての存在から徳を受けています。しかし、当たり前のごとく「お礼を言おう」という意識が、放置していることも多いです。私たちの命が「食」や「肉」や「魚」そして野菜など、すべて自然の恵みです。感謝を以ていたがかなければなりません。きれいな空気を吸い、美しい自然の景色を見れば心が安らぎます。何よりも、水や空気が、太陽の光は人間を含めてすべての生命を育みます。大自然の大きな生命力からも徳を受けていると感じるべきでしょう。この人生に必ず感謝の気持ちで育み、以徳報徳の精神を身につけてまいりましょう。



## 「ねんきんネット」をご存知ですか？

「ねんきんネット」は、お客様がインターネットを通じてご自身の年金に関する様々な情報を手軽に確認できるサービスです。

- ☑ 24時間いつでも、最新の年金記録を確認できます！
- ☑ ご自身で簡単に年金見込額を試算できます！
- ☑ スマートフォンでもご利用いただけます！
- ☑ 高度なセキュリティで安心です！

### ねんきんネットのできること

「将来の年金見込額を知りたい」「自分の年金記録を見たい」「日本年金機構からの通知書を見たい」「自分の記録が未確認記録になっていないか確認したい」「日本年金機構への届書を楽に作りたい」…その他、お客様に役立つサービスをそろえておりますので、ぜひご利用ください。

### ご利用いただける方

「ねんきんネット」は、基礎年金番号をお持ちの方がご利用いただけます。ただし、昭和61年4月1日前に年金受給権が発生した老齢年金を受けている方は、ご利用いただけません。(年金証書に記載の年金コードがゼロから始まるもの(0×××)を受けている方が該当します)

### 「ねんきんネット」を利用するには「登録」を！

初めて「ねんきんネット」を利用するときは、日本年金機構ウェブサイトの「ねんきんネット」ページ [http://www.nenkin.go.jp/n\\_net/](http://www.nenkin.go.jp/n_net/) にアクセスし、「新規ご利用登録」を選びます。続いて「ねんきん定期便」をお持ちの方は「ご利用登録(アクセスキーをお持ちの方)」を選び、アクセスキーなど必要情報を入力すると、ユーザーIDが発行されますので「ログイン」画面にお進みいた

だき「ねんきんネット」を利用することができます。「ねんきん定期便」をお持ちでない方は、「ご利用登録(アクセスキーをお持ちでない方)」を選び、必要情報を入力すると、通常5日ほどでユーザーIDが発行、郵送されますので「ねんきんネット」が利用できるようになります。※アクセスキーの有効期限は、お手元に届いてから3か月です。有効期限後は、「ご利用登録(アクセスキーをお持ちでない方)」を選んでください。

登録手続きなどに関するお問い合わせは「ねんきん定期便・ねんきんネット等専用ダイヤル」へ

ナビダイヤル 0570-058-555

※050から始まる電話からは、03-6700-1144におかけください。  
※受付時間 月～金曜日9:00～19:00、第2土曜日9:00～17:00(祝日(第2土曜日を除く)、12月29日～1月3日はご利用いただけません。)